

リノベーションまちづくりデザイン

授業科目名	リノベーションまちづくりデザイン	単位数 2 単位
英語標記	Design for Town Renovation	
授業コード	360107	
受講人数	40 人	
担当教員	新田保次、鈴木毅、飯田克弘、若本和仁、猪井博登、柴田祐、伊丹康二、横田隆司、小浦久子、木多道宏、松村暢彦、澤木昌典	
対象	全研究科大学院生、社会人（5名程度）	
開講時間等	火曜 6 限（4 月 13 日～）を定例、集中講義（土日など）も実施	
開講場所	吹田キャンパス：工学部 U1W-618 ほか	
キーワード	まちづくりデザイン、地域活性化、居住、交通、環境	
授業の目的	本授業では、主に千里ニュータウンを中心とした大阪大学吹田キャンパス近隣地域を対象に、リノベーションによる地域活性化をめざし、地域ニーズの発掘、まちづくり課題の具体化、課題実現のためのデザイン提案を、市民、企業、行政等の協力を得、ワークショップなどを通じて行い、成果を地域に還元することを目的にする。	
講義内容	1. ガイダンス（1 回） 2. リノベーションまちづくり授業（座学）と選択プロジェクトの紹介（1 回） （1）居住まちづくり系 （2）交通まちづくり系 （3）環境まちづくり系 e. 環境共生とまちづくり f. 環境まちづくり系 3. 各選択プロジェクトの実施（11 回） 受講生は 2. で紹介したプロジェクトの中から一つを選択する。 その選択したプロジェクト毎に以下を実施する。プロジェクトの概要はコメント欄に記す。 （1）プロジェクトについての詳細ガイダンス（1 回） （2）フィールド調査、ワークショップ（10 回） なお、中間発表を行う 4. 各プロジェクトの成果報告（全員参加） 各プロジェクトによるプレゼンテーション	
教科書	なし	
参考書	講義時に適宜紹介する	
成績評価	出席、フィールド調査・ワークショップ等の取組み方、プレゼンテーション内容、レポートによる。	
その他	・本科目の受講を希望する人は、4 月 13 日開催の「ガイダンス」および 4 月 20 日開催の「リノベーションまちづくり授業（座学）と選択プロジェクトの紹介」に出席するようにしてください。 ・本科目は、高度副プログラム「まちづくりデザイン学」の必修科目であり、受講生には、高度副プログラム「まちづくりデザイン学」への登録を推奨します。	

プロジェクトの概要

(1) 居住まちづくり系

街として成熟した千里ニュータウン地区の空間環境的・社会文化的・人的な資源と現在の課題を読み取り、地域組織や住民等と連携しながら居住環境デザインと再構築のための 提案を行う。

(2) 交通まちづくり系

人の生活は自宅を起終点として、移動一目的地での活動の連鎖としてとらえることができる。現在もバリアフリー新法のもと、地域の生活拠点施設を定め、施設間を結ぶ経路のバリアフリー化が進められているが、マニュアルに沿った単なる施設点検に終わっている感も否めない。本テーマでは「移動一活動」すなわち実際の利用の観点で地域の問題発見・解決提案を目指す。

(3) 環境まちづくり系

e. 環境共生とまちづくり

(1) 良好な居住環境の持続、(2) 環境共生型のまちへの再生、(3) 住民主体のまちづくりがキーワード。環境負荷の削減や自然資源の活用などを中心に、まちの課題を発掘する能力やその解決につながる提案を検討する。

f. 地域の持続とまちづくり

まちづくりは、住民がいきいきと生活できる場として自律的に地域を創り出していく活動である。そのために、周辺地域の環境を把握し、過去からの資産をいかしつつ生活を向上させるコーディネーターの資質を育成する。